

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業者経営支援事業費補助金関係）

団体名： 弥富市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価						
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	自己評価	目標達成度	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②	
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の経営基盤の安定強化や、新規創業・経営革新への積極的支援を実施し、コロナ禍での事業継続のための個別支援を行うため、巡回及び窓口において相談指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 474社（内創業5社 非会員 65社） ・巡回窓口指導延件数 1,170件（内創業10件 非会員98件） ・課題解決提案件数 39件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 130.0%)	900	実績数値 1,170	指標 課題解決提案件数 (達成度 130.0%)	30	実績数値 39	小規模事業者の良き相談相手として、事業環境変化の中で各種施策普及を図り、事業計画の策定支援など専門家派遣事業を活用した付随型支援を行うことで、小規模事業者の持続的発展に貢献することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	小規模事業者支援の柱であり、事業環境が図れるよう引き続き事業を実施する。また、小規模事業者の課題把握と課題解決策の提案を行う。	○
記帳継続指導事業	商工会の職員が個人事業主等を対象に正しい記帳法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数 105人 ・指導延日数 808日 ・指導延回数 859回	小規模事業者	指標 記帳継続事業所数 (達成度 100.0%)	105	実績数値 105	指標 (達成度 %)			適正な税務申告と自計化に結び付き、日頃から計数感覚を養うことができた。また、記帳機械化により税務知識の乏しい零細企業の記帳事務を経済することも、指導することで適正な税務申告に繋がった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	記帳事務軽減のため、記帳機械化の普及に努める。計数管理による企業の経営力向上を支援するために、積極的に募集を行う。	○
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や、時宜に即したテーマでの講演等、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 集団 16回 受講者数 333人 個別 7回 受講者数 92人 事業環境変化対応経営相談会 17回 参加者数 46人	小規模事業者	指標 集団受講者数 (達成度 118.9%)	280	実績数値 333	指標 個別受講者数 (達成度 76.7%)	120	実績数値 92	集団講習会についてはコロナ禍であったが、開催方法を検討し実施し、経営力向上に繋がった。経営相談会を実施しコロナ関連施策の普及・支援金や補助金申請の支援を図ることができ、事業継続に繋がった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	来年度は集団講習会については、青年部・女性部合同講演会の開催がないため目標を下げるが、個別講習会もめまめ実務的な専門性の高い講習会を開催する。特に創業予定者・創業5年以内の事業者が増えているため充実を図る。	○
地域産業祭事業	各種のお祭り・祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業や地域資源、観光資源をPRすることで地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	・海南こどもの国 金魚まつり(7月) 来場者数 10,000人(2日間合計) ・海南こどもの国 秋まつり(11月) 来場者数 18,000人(2日間合計) 桜まつり中止(4月)	小規模事業者 祭典来場者	指標 金魚まつり来場者数 (達成度 125.0%)	8,000	実績数値 10,000	指標 秋まつり来場者数 (達成度 90.0%)	20,000	実績数値 18,000	地域住民に対し商工会及び各事業所のPRをすることができ、参加事業所間の交流にも繋がった。また、創業PRコーナーを設けることで、機運醸成が図れ、啓蒙と実態把握が出来た。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 上げる 実施方法②	海南こどもの国で行われる金魚まつりと秋まつりを統合、新たに春開花祭の春空市を評価目標に加え、地域住民に対し商工会や事業所のPRにつながるため、開催方法を模索しながら実施する。	
地域振興事業	地域懇談会を開催し、地域の実態を把握するとともに地域経済振興に関する施策を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	・支部事業 5回 参加者数 33人 ・ごみ袋等販売契約者数 84事業所	小規模事業者	指標 支部事業参加者数 (達成度 82.5%)	40	実績数値 33	指標 ごみ袋等販売契約者数 (達成度 100.0%)	84	実績数値 84	支部総会をはじめ支部事業等の一部が中止となったが、情報収集やPR活動ができた。また、弥富市指定のごみ袋業務を行うことで、地域住民の利便に繋がることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足 新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	地域内の交流の場として、地域ごとの課題や情報収集、県市のPRや要望を聴く機会としても必要であるため、開催方法を工夫したうえで継続して実施する。	
商店街振興事業	街路灯を設置・維持管理することにより商店街が明るくなり、消費者の夜間の安全・安心できる環境を整え、中小・小規模企業の活性化につながるるとともに、地域社会への貢献、発展の一助となる。	街路灯本数(補助金申請分) 235本	小規模事業者	指標 市補助金電灯料申請本数 (達成度 99.2%)	237	実績数値 235	指標 (達成度 %)			廃業の増加等、商店街の衰退とともに街路灯電灯料申請の本数が減少しており、管理負担が重くなってきているため、弥富市の街路灯電灯料補助金により負担の軽減を図った。また街路灯の維持・管理を図ることで、環境美化や地域の防犯に役立った。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 B	満足度 A 補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	街路灯の老朽化や廃業などにより減少しているが、商店街及び個店の魅力アップ、また、環境美化や防犯にも繋がるとともに、地域活性化の一助となる。	
地域産業活性化事業	地域商工業者の声を聞き、地域の特性を活かした地域資源の活用や企業の発展及び地域産業の活性化につなげることを目的とする。	会員交流研修会 1月18日 参加人数 49人	小規模事業者	指標 参加人数 (達成度 32.7%)	150	実績数値 49	指標 (達成度 %)			コロナ禍により3年ぶりの開催となり、各地域や異業種間の出会いの場として交流を深めることが出来た。また、商工会のPRも図れ、スムーズな事業運営に役立った。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B 目標達成度 D	調査結果 満足度 B 必要性 B	満足度 B 補足	目標① 下げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	異業種交流の場となるよう、研修会を実施する。それに伴い、目標・実施方法を改善する。また、多くの参加者が得られよう工夫しながら実施する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 弥富市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価						
				指標	達成度	実績数値	指標	達成度	実績数値	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度			補足	目標①	目標②
青年部・女性部事業	社会福祉活動を通じて地域との関わりを持つことで地域社会の発展に寄与すると共に、将来、地域のリーダーとなる人材を創出する。また、部員同士の交流により各々の経営改善の機会を創出する。	・青年部総会及び全体会議等 23回 141名 ・女性部総会及び役員会 7回 116名 ・研修会等 11回 24名 他に海部支部事業、県連事業に参加	小規模事業者	指標	参加人数 (達成度 133.8 %)	指標	(達成度 %)	得られた効果	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 上げる	目標②	地域振興活動を通じて地域との関わりを持つことで地域社会の発展に寄与すると共に、引き続き実施する。青年部員は減少傾向にあるため、部員になるためのメリットと活動内容のPRを図り、部員増と参加者増に努める。	○
部会委員会事業	商業・建設工業などの各部会や必要に応じた活動を行うことで、情報交換や交流の機会を創出し、参加企業の発展に資することを目的とする。	・商業部会 総会、役員会等 8回 32名 ・建設工業部会 総会、役員会等 2回 7名 ・食品部会 総会、定例会等 5回 490名	小規模事業者	指標	参加人数 (達成度 160.3 %)	指標	(達成度 %)	同業種の集まりであり抱える課題について共通したものも多く、同業種ならではの情報交換の場となり情報収集に繋がった。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標②	情報交換の場となり事業継続のきっかけづくりにもなるため、引き続き事業を実施していく。経営力向上につながるヒントやネットワークづくりを図れる事業を充実させる。	
福利厚生事業	中小零細企業の経営や雇用の安定を図るために各種共済制度の普及や従業員の福利厚生を支援することにより、企業の健全な育成に資することを目的とする。一般に1回健康診断の実施率等があるが、小規模事業者等においては、なかなか受診する機会がないため、商工会が主体となり受診機会を提供することで健康増進をし、安定的な企業経営を図ることを目的とする。	・中小企業共済加入人口数 39口 ・健康診断受診事業所数 23事業所	小規模事業者	指標	中小企業共済加入人口数 (達成度 130.0 %)	指標	健康診断参加事業所数 (達成度 76.7 %)	各種共済制度の幅広い補償により、加入者の不安の軽減や、人手不足解消につながる福利厚生の充実も図られた。また、加入による手数料収入により自己財源の確保に繋がった。健康診断事業では受診機会を提供することで、従業員の福利厚生の充実が図れ、経営の安定に繋がった。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	自己財源確保と経営の安定のために引き続き実施していく。健康診断事業についても周知を図る。より多くの事業所の参加を図る。	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことにより中小事業主の事務負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険受託事業所数 126事業所	小規模事業者	指標	受託事業所数 (達成度 105.0 %)	指標	(達成度 %)	労働保険に関する事務の受託を通じて、国・県の各種労働施策の普及及び利用促進に繋がった。また、企業の雇用の維持にも貢献できた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 B	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標②	企業の事務処理軽減が図れるため引き続き実施する。労働保険に関する情報提供を行うことで、制度普及・加入促進を行い、受託事業所の増加に努める。	
税務関係団体指導事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動を支援することで国・地方公共団体、地域社会へ貢献し、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	・法人会会員数 180人 ・青申会会員数 272人 記帳指導 2回 年末調整指導 1回 決算申告指導 3回	小規模事業者	指標	法人会・青色申告会会員数 (達成度 100.4 %)	指標	(達成度 %)	税の啓発や租税教育を推進する青色申告会並びに法人会の事業運営への連携と協力を通し、ネットワークづくりと情報交換が活性化され、小規模事業者の経営力の向上に寄与することが出来た。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	商工会との連携事業により相互のメリットを強調し、怪異数増加に努めるとともに税に関する意識向上に努める。	
人材育成事業	地域の総合的な改善発達を図ることを目的として、珠算振興と将来の経営者としての人材育成に資するため全国連と県連主催の珠算検定事業を実施する。珠算能力のより一層の向上に役立っているため支部選抜珠算大会へも参加する。	・珠算検定試験 4回 11人 ・海部商工会選抜珠算競技大会 中止	児童・生徒	指標	検定受験者数及び大会参加者数 (達成度 44.0 %)	指標	(達成度 %)	青少年の健全育成にも役立ち、地域への商工会PR及び珠算振興に繋がった。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 下げる	目標②	将来の地域を担う青少年の人材育成に繋がりを、商工会のため引き続き実施する。	
若手後継者等育成事業	地域経済を支える小規模事業者の減少対策として若手経営者・後継者の経営力向上を目的として、セミナーを開催し、スムーズな事業承継と経営者としての資質を養う。地域の小規模事業者の指導者となる人材育成のため、青年部及び女性部の交流機会として中部ブロック大会等に参加する。	・講習会等 2回 12名 ・青年部中部ブロック大会 参加中止 ・参加者満足度 70%以上	小規模事業者	指標	セミナー参加者及び中部ブロック大会参加者数 (達成度 33.3 %)	指標	参加して満足した者の割合 (%) (達成度 142.9 %)	講習会により、経営者としての資質向上を図ることが出来た。また、知識の取得により、適切な税制改正への対応に繋がった。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標① 上げる	目標② 現行どおり	他地域との交流や先進事例を学び資質向上を図るよう全国大会や中部ブロック大会に参加するため方法・目標を変更する。中長期的な視点にて経営に参加できるようにするよう内容の充実を図る。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。